



バードコール

梵珠少年自然の家

1 活動のねらい

- ・自然素材を使うことで自然に親しみながら、思い出となる記念品を作ることができます。
- ・木材加工や装飾のための道具の安全な使い方を習得することができます。

【教科への対応】 小学校：図画工作、生活など 中学校：美術、技術・家庭など

2 活動の概要

スギ材に穴開け加工や彫刻刀などによる装飾を施し、バードコール(鳥をよせる道具)を作る活動です。



(1)人数 160人以内

(2)対象 制限なし

(3)期間 通年

(4)時間 2時間(通常バージョン)
1時間(簡易バージョン)

(5)場所 体育館、研修室1・2、キャンプセンター

<通常バージョン>

<簡易バージョン>

(6)経費 150円/1作品

(7)指導 製作方法等について、自然の家職員が説明(直接または間接指導)を行う。

3 準備物

団 体	救急薬品
個 人	軍手
自然の家	材 料：アイボルト、スギ角材または天然木(簡易バージョン)、 パラコードまたはカラーひも(簡易バージョン) 道 具：ボール盤、彫刻刀、油性ペン、バーニングペン、作業板、ライター マジックペン、紙やすり その他：バケツ水

4 引率者の役割分担

代表責任者	1名。全体の総括、指揮、連絡にあたる。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

5 活動の流れ

	内 容	
	通常バージョン	簡易バージョン
説 明	- 参考作品を提示しながら、作り方について説明 - 用具の使い方と安全について説明	
活 動	① 作り方について動画を視聴する - パラコードの編み込み方法 - ボール盤やバーニングペンの扱い方 ② 卓上ボール盤で穴を開ける。 - 左手で、しっかりとスギ材を押さえる。 - ハンドル部を回し、目印までドリルを降下させる。 ③ スギ材に装飾を施す。 - バーニングペンのペン先で木材を焦がしながらゆっくりと文字や模様を描く。 - 彫刻刀で、加工してもよい。 - 必要に応じて、ペンで彩色ややすりがけを行う。 ④ パラコードで吊り下げひもを編む - パラコードを長さ 150 cmで切る。 ※ 端をライターであぶりほつれないようにする。 - スネークノットで5回程度編み込む。 - 編み込んだパラコードにアイボルトを結わえる。 ⑤ スギ材にアイボルトをねじ込み、何度かアイボルトをなじませながらよい音が出るようにする。	① 卓上ボール盤で穴を開ける。 - 年輪の中心にボール盤で穴をあける。 ※ボール盤は大人が扱う。 ② アイボルトを付け、音色を確認する。 - 奥まで差し込み、ボルトを戻しながら一番音色のいいところを見極める。 ③ 素材に加工・装飾を加える。 - 油性ペン等で色を付ける。 (必要に応じて) ④ ひもを付けて完成。 ＜ひもの付け方＞ - ひもの両端を玉結びして止めた後、ヒバリ結びをする。
	野外に出て、完成させたバードコールを鳴らしてみる。	
まとめ	- 感想発表や友達の作品の鑑賞 - 用具の返却と後片づけ	

6 安全に実施するためのポイント

- バーニングペンによるやけどや彫刻刀でのけがを防止するため、軍手をつけて作業する。
- ボール盤の扱いに十分気をつける。
- やけど防止用のバケツ水を用意する。
- バーニングペンによるやけど防止のため使用する際は、なるべく軍手を着用する。
- 刃物を扱うときは、刃の前に指や手を置かないように十分気をつける。